

平成 30 年度スマートウェルネス住宅等推進モデル事業 事業全体の効果の評価・検証の報告について

小田急電鉄株式会社および小田急不動産株式会社では、平成30年度スマートウェルネス住宅等推進モデル事業（住宅団地再生部門）として採択された『小田急多摩線「黒川駅」「栗平駅」の駅前施設を起点とした郊外型住宅団地の活性化プロジェクト』の事業全体の効果の評価・検証をまとめ、国土交通省に提出いたしました。

<報告書概要>

■事業実施状況（各施設の入居状況/利用状況/運営状況/取り組みの概要等）

■評価・検証

- ①事業KPIとして定めた5項目（住環境総合満足度/愛着度/推奨度/誇り度/継続居住意向）について、事業前後を比較検証。
- ②本事業にかかる施設や取り組みについての認知度について、事業団地居住者へ調査（アンケート）・検証。
- ③本事業や施設に関する評価について、施設利用者へ調査（アンケート）・検証。

■具体的な成果

- ①コロナをきっかけとしたリモートワーク推進や働き方の多様性がマッチし、「郊外における新たな働き方の提案」につながっている。
- ②地元野菜の活用や販売促進、地元農家との協働など、地域の魅力を一体的に発信している。
- ③地域活動団体や自治会、農家、行政、地域企業などで形成する地域コミュニティでは、定期的な活動・イベント等により、地域が緩やかにつながり、各世代にとって楽しく・安心で暮らしやすい地域づくりを行なっている。

<報告書詳細>

報告書詳細については、以下よりご覧いただけます。

<https://www.odakyu-fudosan.co.jp/pickup/swkensho2020/> (pdf|8,808KB)

以上

このお知らせに関するお問い合わせは、

小田急不動産（株） 経営企画部 Mail: keieikikaku@odakyu-fudosan.co.jp をお願いいたします。